

## 「子どもたちを送る日」

何たる縁か。こうして親しく、あなたの為には大切な幾とせを、日々にいっしょに楽しみ得たことか。

「教育」。そんなことよりも、あなたを迎える朝な朝なが私の楽しみでした。「あなたの為」。そんなことよりも、あなたといっしょに遊ぶことが私の喜びでした。

ただね、今になって考えて見ると、随分行き届かないことが多かったと、それが、すまないのですよ。けれどね、御免なさいなんて、そんなことは決していいませんよ。私の足りないことを、あなたは何とも思ったりしていないと、それが、しっかり、私に分かっているから——。若しそうでなかったら、こんなに、にこにここと、あなたの修了をお送り出来るものですか。

「いい先生」、そんなこと、どうでもい

いのね。あなたの好きな先生だったんですものね。ほんとに、そうだったんですね。——倉橋惣三「育ての心」より——

三月。卒業の季節。勢一杯小さな翼を広げ、新しい空へと飛び立っていく子どもらの後姿に向けて、保育者がつぶやくのはこんな言葉をおいてない。

然し、それにしても、本当に、「あなたの好きな先生だった」と断言する自信があるだろうか。そこで、その後、そつと、こんな言葉をつぶやきたくなる。

——よろこばれると済まなくなる。礼をいわれると気恥しくなる。うれしさと目出度さに上気させられるような、三月末の賑やかさと、はなやかさの後に、子どもには知らせずに、そつと独りて詫びたい心が残る。—— 同著「詫びる心」より引用——

(H)

## 幼児の教育 第八十二巻 第三号

三月号 ㊦

定価三〇〇円

昭和五十八年 二月二十五日 印刷

昭和五十八年 三月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼

発行人 津 守 真

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

●本誌御購読についての御注文は発売所フレイベル館にお願いいたします

\*万一製品不良品がございましたら、おとりかえいたします。